

平成29年度第1回川崎市上下水道事業経営審議委員会会議録

1 開催日時

平成29年11月6日（月）14:00～17:00

2 開催場所

長沢浄水場 浄水管理棟 大ホール

3 議題

(1) 中期計画（H26～H28）の評価結果について

(2) 川崎市上下水道事業中期計画（H29～H33）の進捗管理について

4 出席者

(1) 委員会委員（敬称略）

小泉明（委員長）、長岡裕（副委員長）、磯貝和敏、齋藤利晃、魚津利興、梶ヶ谷雪香、庄司幹夫、舘克則、岩瀬記代

(2) 上下水道局職員

上下水道事業管理者、総務部長、経営管理部長、サービス推進部長、水道部長、水管理センター所長、下水道部長、下水道部担当部長（下水道施設）、担当部長（調整担当）、庶務課長、経営企画課長、経営企画課担当課長（国際事業推進）、財務課長、財務課担当課長（下水道財務）、サービス推進課長、水道計画課長、下水道計画課長、担当課長（調整担当）、長沢浄水場長、浄水課長 ほか

5 傍聴者

なし

6 会議内容

以下のとおり

事務局 出席者が全員揃いましたので、ただ今から平成29年度第1回川崎市上下水道事業経営審議委員会を開催させていただきます。私は、事務局を務めさせていただきます経営企画課長の舘と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議ですが、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定に基づき、公開とさせていただきますので御了承願います。

また、会議終了後、議事録を作成いたしますが、こちらも原則公開となっておりますので、事務局で作成後、各委員に内容を確認していただいたのち、確定させてまいりたいと考えております。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。

(~資料確認~)

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、金子上下水道事業管理者から御挨拶を申し上げます。

上下水道事業管理者 上下水道事業管理者の金子でございます。

皆様におかれましては、本日は大変お忙しい中御出席いただきまして誠にありがとうございます。

委員会の開催にあたりまして、一言、挨拶を述べさせていただきます。

今年の3月には、これまで経営審議委員会の委員の皆様からいただいた御意見を基に、「川崎市上下水道ビジョン」と「川崎市上下水道事業中期計画」を策定することができました。改めて、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

上下水道事業の基本的な機能である「水道及び工業用水の安定供給」と「汚水処理・雨水排除」の重要性を、今までも、またこれからも意識し、市民や事業者の皆様のご生活や経済活動を支える重要なインフラシステムであり続けるために、ビジョンに掲げる基本理念である「健全な水循環により市民の生活を守る川崎の上下水道」の下、職員が一丸となって、心新たに、事業の推進のために全力で取り組んでいるところでございます。

また、本日は、平成28年度まで取組を進めてまいりました、それぞれの事業における中期計画の評価結果と、新しい中期計画の進捗管理の方法等について御説明する予定でございます。新しい中期計画につきましては、進捗管理を確実に実施し、取組の着実な推進と計画目標の達成により、上下水道ビジョンを実現してまいりたいと考えております。

本日は短い時間ではございますが、皆様の率直な御意見を賜りたいと考えておりますので、御審議の程よろしく願いいたします。

また、本日は、平成28年3月に事業再構築によりリニューアルした長沢浄水場と、本年6月にオープンした、上下水道局の広報施設である「水

とかがやく未来館」の視察も予定しておりますので、こちらも、どうか楽しみにしていただければと存じます。

簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、小泉委員長から御挨拶をお願いしたいと思います。小泉委員長、よろしくお願いいたします。

小泉委員長 委員長の小泉でございます。

今年度になって初めての経営審議委員会でございます。本日の議題は、平成26年度から28年度までの中期計画の評価結果と、今年3月に策定されました「川崎市上下水道事業中期計画」の進捗管理についてとなっております。

遡りますと、当委員会でも丸2年以上をかけて審議してまいりました結果として新たに策定された中期計画は、平成29年度から5年間の川崎市上下水道事業の取組を具体的に定めた内容であり、上位計画として策定した「上下水道ビジョン」と合わせ、大変価値のある重要なものでございます。今後、新たな中期計画の進捗管理についても、委員の皆様のお意見を伺いながら進めていくことになると考えておりますので、よろしくお願いいたします。

先ほど管理者からの挨拶にございましたとおり、上下水道は市民や事業者の生活や経済活動を支える重要なインフラシステムでございます。ここ日本では、ほぼ誰もが当たり前のように水を使い、使い終わった水は下水道を通り、浄化された後、川や海に戻すという水循環の恩恵を受けています。普段からその恩恵を特に意識することもなく当たり前のもので受け、高い水準の上下水道サービスを享受しているということは、まさに、日本の上下水道が、世界でもトップクラスのレベルにあるといえるものだと思っております。平常時はもちろんのこと、災害時においても、その機能を維持し、迅速に回復させることができる上下水道システムにしたいと、私たちは常々願っており、このような上下水道の素晴らしい機能が今後も続いていくよう、計画的に事業を運営していただきたいと思っております。

また、本日は長沢浄水場と新たな広報施設「水とかがやく未来館」の視察も企画されているということで、こちらも非常に有意義なものになるかと思っております、楽しみにしております。

時間も限られておりますので、挨拶はここまでとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。続きまして、経営審議委員会委員の退任の報

告及び後任の委員の御紹介をさせていただきます。

長年にわたり経営審議委員会委員として御尽力いただきました、古米委員におかれましては、市の内規である委員としての通算期間が10年を超えることと、このことに伴う御本人からの申し出により、上下水道ビジョン及び中期計画の審議が終了した平成29年3月31日をもって委嘱期間を満了いたしました。

また、退任に伴いまして、古米委員から後任の委員を御推薦いただき、事務局から経営審議委員会委員の就任をお願いしたところ、御快諾いただきましたので、御紹介いたします。

「川崎市上下水道事業経営審議委員会委員名簿」を御覧ください。こちらの名簿は、区分ごとに50音順に作成しておりますが、学識経験者の区分の上から3番目に記載があります、日本大学教授の「齋藤利晃（サイトウ トシアキ）様」でございます。

なお、任期につきましては、平成29年11月1日から平成30年9月30日までとなっております。ここで、齋藤先生から一言、御挨拶をいただければと思います。よろしく御願いいたします。

齋藤委員 日本大学の齋藤と申します。よろしく御願いいたします。私は下水道を専門としておりまして、水処理と言いますか、地球温暖化ガスである亜酸化窒素ガスの生成に関する研究テーマを扱っております。川崎市とは以前、汚泥の処理の計画に関する取組でお世話になったことがございます。

今回は、前任の委員が大変著名な方でハードルが高いとは思っている所ですが、微力ながらお力添えをさせていただければと存じます。今後ともどうぞよろしく御願い申し上げます。

事務局 ありがとうございます。以上で経営審議委員会委員が揃いましたことを御報告させていただきます。

続きまして、次第4、副委員長を選任に移ります。

古米副委員長の退任に伴う、次期副委員長の選任ですが、要綱によりまして、副委員長は委員長の推薦により定めることとなっておりますので、小泉委員長、副委員長の推薦をお願いいたします。

小泉委員長 長岡先生にお願いしたいと考えています。

事務局 ありがとうございます。長岡先生よろしいでしょうか。

長岡委員 お引受けいたします。

事務局 ありがとうございます。長岡先生、よろしく御願います。それでは、

長岡副委員長から一言、御挨拶をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

長岡副委員長 副委員長を務めることになりました長岡でございます。経営審議委員会委員も長年務めさせていただいておりますし、川崎市上下水道局の皆様にも日頃よりお世話になっております。小泉委員長を補佐して、この経営審議委員会が活発なものとなるように努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、本年度最初の経営審議委員会ということで、委員も入れ替わっておりますので、本日出席しております上下水道局の職員を紹介させていただきます。

(~自己紹介~)

事務局 それでは、要綱によりまして、委員長が議長となりますので、ここからの会議の進行につきましては委員長、よろしくお願いいたします。

小泉委員長 承りました。議題に入ります前に、次第にも記載してありますが、委員会の後に、長沢浄水場と「水とかがやく未来館」の視察がございますので、委員会については、1時間を目安にと考えておりますので、皆様、御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

議題1「中期計画（H26～H28）の評価結果について」と、議題2「川崎市上下水道事業中期計画（H29～H33）の進捗管理について」は、関連がございますので、事務局から続けて説明をよろしくお願いいたします。

館課長 それでは、事務局から説明させていただきます。議題1と議題2について、資料に沿って御説明いたします。まず、資料1-1を御覧ください。

館課長 (資料1-1)「中期計画（H26～H28）の評価結果について」説明

館課長 (資料1-2)「中期計画（H26～H28）の評価基準」説明

館課長 続きまして、議題2「川崎市上下水道事業中期計画（H29～H33）の進捗管理について」御説明いたします。資料2-1を御覧ください。

館課長 (資料2-1)「川崎市上下水道事業中期計画（H29～H33）の進捗管理について」説明

館 課 長 (資料2-2)「評価シート見本」説明

小泉委員長 ただ今の議題1、議題2の説明について、御意見・御質問等がありましたら、お願いいたします。

岩瀬委員 市民委員の岩瀬です。よろしく申し上げます。安定的な水供給ということで、今年、記録的少雨の為、宮ヶ瀬ダムの貯水率が56%まで低下したということで、川崎市でも渇水対策について、具体的な検討をした方が良くと思います。いかがでしょうか。

渡辺所長 御意見ありがとうございます。今年は異例な雨の降り方で、7月の雨が異常に少なく、委員がおっしゃるように、宮ヶ瀬ダムでかなり水位が低下いたしました。神奈川県全体として、相模湖と津久井湖と宮ヶ瀬湖を導水管で結んで、それぞれのダムの貯水率が大幅に下がらないように、平均的に水位を下げるような努力は、これまでもしてきております。また、宮ヶ瀬湖の水位が下がった際には、相模湖や津久井湖に貯まった水を宮ヶ瀬湖に送る仕組みを持っておりまして、弾力的なダム運用と言っていますが、ダムの水位が低下しないような努力をこれまでも行っています。それでもさらにダムの水位が下がった場合には、直接的に市民の皆様へ节水のお願いをする広報を行うということになるのですが、そこまでのレベルには達しなかったというのが今年の状況です。节水については、平成7年、8年に市民の皆様には御迷惑をおかけしたのですが、それ以降、宮ヶ瀬ダムができてからは、神奈川県では渇水にはなっていないという状況です。今後も、ダムの弾力的な運用によって、市民の皆様へ迷惑をおかけしないようにしていきたいと考えております。

磯貝委員 危機管理について、年間5回の訓練を行う予定だったところが、熊本地震への派遣によって4回になってしまったということで、評価がCになっているということでしたが、定量的な数値の評価は変更ができないかもしれないとしても、定性的なものについては、評価を与えても良いのではないかと気がしたのですが、いかがでしょうか。

関口部長 御意見ありがとうございます。御指摘のとおり、熊本地震の際に支援隊として26名の職員が出向いて、支援活動に携わってきたということで、訓練の何倍とも言えるような経験を積んで帰ってきたことで、川崎市に足りないものを補完できるような貴重な経験をしてきたと認識しております。今回の評価結果につきましても、そのような事情は事務局には十分に申し伝えたところですが、ルールはルールということで、このような評価

結果になったということでした。職員一同、そういった事情も十分に認識しておりますので、今後、御指摘を踏まえまして、評価等についても柔軟に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

岩瀬委員 中期計画の評価結果について、資料1-1の4ページで、応急給水の充実というところで、学校関係者等との調整の結果、配水池・配水塔の耐震化が遅れた、と記載されているのですが、今回の評価結果では4になっていますが、工事の発注は既にされているということで、今後は予定通り進行するという事で大丈夫だという認識でよろしいでしょうか。

亀山部長 御質問ありがとうございます。委員のおっしゃったとおり、発注自体は既に完了しております。当初は、平成28年度に完了するように進めていたのですが、実際には学校等との調整により遅れてしまったということで、評価結果としては4という評価をすることになりました。現状としては、平成28年度時点の目標値は既に達成しております。学校関係の工事では、どうしても学校が休みの日に工事を行わなければならないという事情がありますので、今後は、そのような事情を踏まえて、発注形態の検討を進めていき、目標値を達成していきたいと考えております。

長岡委員 先ほど、熊本地震の評価に関連したお話がありましたが、例えば耐震化率といった定量的な評価については、それはそれでよろしいと思っておりますが、PDCAサイクルを回すに当たっては、そういった視点以外の考え方も必要なのではないかと思っております。例えば、かわBizネットのところで、件数の目標に対して、それを達成できたので十分だ、ということだったのですが、内容についても評価しなければいけないと思っております。他にも、ダムの連携・広域連携の話についても、継続していれば3という評価になっているという印象ですが、そうではなく、もう少し内容を考慮した上で、次の期間のPDCAを回すということになるかと思っております。定量的な評価は、それはそれで良いですが、もう少し、定性的な評価を入れて、より良くするにはどうしたら良いかといった視点で評価していくことが必要ではないかと思われました。

竹本部長 御意見ありがとうございます。今後は、今回参考で添付している資料2-2の評価シートに沿って評価を進めていくことになりますが、裏面を御覧いただくと、数値目標が設定されているものに関しては、このように状況を記載することを考えています。また、それに加えて、定性的な評価に関しては、その下の定性的成果ということで、記載することを考えています。定量的な評価では表せないものもございますし、そもそも、数値目標が設定されていない取組もございますので、そういった取組については、

定性的な評価も適切に行い、整理した上で、総合的な評価をしていきたいと思ひます。また、定量的な部分については、今回は、基準を設けて厳しく割り切つて評価させていただきましたが、御意見もいただきましたので、定性的な部分も含めて評価をするということで努力をしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

齋藤委員　少し細かな話になってしまうかもしれませんが、資料2-1の28ページの温室効果ガスの排出削減のところ、二段燃焼化によって、 N_2O の発生を抑制するという記載があります。将来的にこのように進めていくという計画だと思ひますが、 N_2O については、結局のところ、窒素をどこで処理するかという話になるかと思ひます。要するに、個体として汚泥にした後に燃焼するのか、生物的に硝化、脱窒によって処理するのか、そういう処理方法によつても、ざっくり計算しても窒素の転換率というのがおそらく1%を超えるのですが、適正に水処理すると転換率が0.1%は確実に低下します。そういう意味で言うと、温室効果ガスの排出量というのは、下水の方で処理した方が明らかに減ります。LCA（ライフサイクルアセスメント）的にみると、もう少し複雑にはなると思ひますし、将来的にどうされようとしているのかよくわからないですが、汚泥をどう処理するのか、ですとか、エネルギー化であるとか、そういう方策とも関連することにはなると思ひます。現状、 N_2O をこのような形で減らしていくということに関しては、良いかと思ひますが、もう少し広く見ると、窒素を下水で取るのか、汚泥で取るのかという話にもなってくると思ひるので、そのような視点も入れて、ぜひ将来像を考えていただけると良いかと思ひます。

関口部長　大変貴重な御意見をどうもありがとうございました。確かに下水処理システムの中で、どこで N_2O を削減していくのか、ですとか、窒素をどのように処理していくのか、バランスは全体的にみなくてはいけない問題だと思つております。現状では、その辺りまでシステムを系統立てて定量的に評価したことがないところでして、それぞれのシステムの中において、どれだけ窒素を取れるかという視点でしか考えていなかったところですが、非常に貴重な御意見をいただきましたので、どこで窒素を取るのが一番効率的なのかということと、また、全体として、LCAが削減される一番良いところなのかということは今後検討できれば良いと思つております。ぜひ参考にさせていただきたいと思ひます。どうもありがとうございました。

小泉委員長　どうもありがとうございました。こういった評価につきましては、定量的な評価では、高い目標を掲げれば、評価が悪くなってしまうわけでは

れども、川崎市上下水道局は、かなり高い目標を掲げてやっているということを感じとして持っております。

平成28年度までの評価結果、そしてこれから先の平成29年度以降の中期計画目標に向けての評価、これはぜひ、審議委員会としてもしっかりと見守っていきたいと思いますし、委員の方々にもぜひよろしくお願いしたいと思います。結果として、どれだけ市民にとって良いことができたのかということが大事でありますので、そういう意味で、中期計画を立てて、しっかりと進捗を測っていくということだと思います。今日は、委員の先生方からいろんな意見が出ましたので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

議題は以上でございますが、皆様、他に何かございますでしょうか。

それでは、このあたりで本日の会議を終了したいと思います。皆様おつかれさまでした。マイクを事務局にお返しいたします。

事務局 小泉委員長、ありがとうございました。

次回の委員会につきましては、今のところは今年度の開催予定はございません。次年度の委員会につきましては、新年度に入ってから、皆様と日程調整をさせていただきながら、開催日を決定したいと考えておりますので、その際はよろしく御協力のほどお願いいたします。

それでは、これから長沢浄水場及び広報施設「水とかがやく未来館」の見学に移りたいと思います。

(～長沢浄水場及び広報施設「水とかがやく未来館」の見学後閉会～)